

市町村名	今帰仁村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	多言語ガイドブック等作成事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(工) 観光客受入体制の整備		
担当部課名	経済課	事業実施 年度	平成 30 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	-1-(1)		
事業内容	外国人観光客の利便性の確保を図るため、多言語(日本語・英語・韓国語・中国語(簡体語・繁体語))に対応できる充実した観光案内パンフレット及び観光マップ、PRポスターを作成し、県内各施設へ配布した。						
実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他()		
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		30年度	年度	年度	年度	合計	
	A. 予算現額	4,872				4,872	
	B. 執行済額	4,872				4,872	
	うち 交付金充当額	3,897				3,897	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%	
執行状況の説明	事業計画どおりに執行を進め、入札残が発生した分は他事業へ流用を行い、執行率は100%となり計画的に執行できた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			30年度	年度	年度	年度	年度
	多言語ガイドブックを作成し配布する	目標	作成・配布				
		実績	作成・配布				
		目標					
		実績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			30年度	年度	年度	年度	年度
	多言語観光ガイドブックを作成	目標	作成				
		実績	作成				
	多言語観光マップの作成	目標	作成				
		実績	作成見送り				
観光資源PRポスターの作成	目標	作成					
	実績	作成見送り					

事業完了後の取り組み						
成果目標(指標)	達成 / 進捗状況					
	中期にわたる事業効果 後年度に発現する事業効果	1年度	2年度	-	-	年度 目標/発現年度
事業完了後の成果目標 外国人観光客の利便性が確保されたか(80%以上)を含め、外国人観光客等に対するアンケートにより本事業を検証する。	目標	80%				
	実績	85%				
	目標					
	実績					
状況説明 [R1年度] ・県内観光施設・宿泊施設等及び各種イベントで配布を行い情報発信を行い、今帰仁村を訪れた外国人観光客にアンケート調査を実施することができた。 [年度] ・ [年度] ・						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)			
[R1年度] ・多言語のガイドブックを作成したことにより、外国人観光客にも今帰仁村の観光や飲食店の情報を伝えることができ、アンケートの結果でも「満足」が85%を超え概ね好評であった。 [年度] ・ [年度] ・			[R1年度] ・満足度を向上させるため、必要に応じてアンケート調査を行い、工夫・改善を行う。 [年度] ・ [年度] ・			
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)						
[R2年度] ・配布を継続して行き、外国人観光客の利便性の確保を引き続き行っていく。 [年度] ・ [年度] ・						

市町村名	今帰仁村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	今帰仁城跡関連施設サイン等設置事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ 観光客受入体制の整備	
担当部課名	教育委員会	社会教育課	事業実施 年度	平成 30 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	-1-(1)	
事業内容	外国人観光客の利便性を確保するため、世界遺産今帰仁城跡周辺施設に多言語サインを設置し、受入環境を整える。						
実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他()		
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	合計	
	A. 予算現額	2,991				2,991	
	B. 執行済額	2,991				2,991	
	うち 交付金充当額	2,393				2,393	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%	
執行状況の説明	事業計画どおりに執行を進め、入札残(294千円)が発生したことから、他事業へ流用した。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	今帰仁城跡関連施設の多言語化された看板の制作・設置を行う。 ・グスク交流センター案内看板等 ・駐車場誘導看板等	目標	多言語看板の制作・設置				
		実績	多言語看板の制作・設置				
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	駐車場誘導看板製作完了	目標	駐車場誘導看板製作完了				
		実績	駐車場誘導看板製作完了				
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み

成果目標(指標)		達成 / 進捗状況				
		R1年度	R1年度	R2年度	R3年度	年度 目標/発現年度
事業完了後の 成果目標	中期にわたる事業効果 後年度に発現する事業効果					
	外国人観光客の利便性が確保されたか(80%以上)を含め、外国人観光客等に対するアンケートにより本事業を検証する。	目標	80%			
		実績	80%			
		目標				
実績						
状況説明	[R1年度] ・多言語サインの設置により利便性が確保されたか、来場者へのアンケートで検証し、有効回答数のうち80%がよかった・大変よかったと回答された。 [年度] ・ [年度] ・					
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)		【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
[R1年度] ・多言語サインの設置により、施設等の場所の問い合わせが減少していることから、事業効果が発揮されていると考える。継続してアンケートを実施し、その内容を検証する必要がある。 [年度] ・ [年度] ・		[R1年度] ・効果的なアンケートを実施するため、アンケート方法(場所・内容等)について検討する。 [年度] ・ [年度] ・				
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)						
[R1年度] ・継続してアンケートを実施する。多言語サインによる利便性が確保されたかを検証し、必要に応じて工夫・改善を行っていく。 [年度] ・ [年度] ・						

市町村名	今帰仁村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	地域活動拠点活性化事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章 2(7)-イ 交流と共創による農山漁村の活性化		
担当部課名	企画財政課	事業実施 年度	平成 29	- 平成 30	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	-1-(1)
事業内容	地域活動・地域行事・伝統文化等芸能の場や景観を利用した、都市及び観光客との交流体験の場となる施設を整備する。						
実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他()		
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	合計	
	A. 予算現額	97,805				97,805	
	B. 執行済額	96,876				96,876	
	うち 交付金充当額	54,666				54,666	
	執行率(%) (B/A)	99.1%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	99.1%	
執行状況の説明	資材調達や労務者確保が難しく、繰越が生じたもの、予算の範囲内で適正な執行が行えた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	地域活動拠点施設の建築工事の実施	目標	地域活動拠点施設の建築工事の実施				
		実績	地域活動拠点施設の建築工事の実施				
		目標					
		実績					
事業期間中の 成果目標 <th rowspan="2">成果目標(指標)</th> <th colspan="5">進捗状況</th>	成果目標(指標)	進捗状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	地域活動拠点施設の完成	目標	地域活動拠点施設の完成				
		実績	地域活動拠点施設の完成				
		目標			1,480人		
		実績			10,200人		
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	中期にわたる事業効果 後年度に発現する事業効果		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	年度 目標/発現年度
	[R1成果目標] 年間施設利用者 1,480人	目標	1,480人				
		実績	10,200人				
		目標					
実績							
状況説明	[R1年度] ・令和1年度の年間施設利用者は10,200人で、目標値を大幅に超えて達成することができた。 [年度] ・ [年度] ・						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
[R1年度] ・令和1年度は4年に一回の豊年祭の開催年であり、豊年祭の練習や見学者等が訪れることで目標を大幅に超えた利用者数となった。 [年度] ・ [年度] ・			[R1年度] ・利用が増える時期や期間には施設の使用状況について周知し、希望通りにいかないこともあると利用希望者に理解を得る [年度] ・ [年度] ・				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)							
[R1年度] ・通常期の施設利用については特に問題ないが、豊年祭等地域の大きな行事がある年の施設利用については、利用状況を確認しつつ周知を強化しながら問題の無い施設運営を行う。 [年度] ・ [年度] ・							